

# フィフティだより

発行 丹波篠山市男女共同参画センター「フィフティ」  
令和6年10月21日

## 活躍する女性へ インタビュー



住吉台自治会 会長  
前田直美さん

### 住吉台自治会

- ・世帯数 1,143世帯(R6.9.30時点)
- ・自治会女性役員数 15人(45.5%)
- ・地区の概要

昭和50年代に開発された住宅地。JR篠山駅から徒歩20分圏内に位置し、舞鶴若狭自動車道のインターチェンジや大型ショッピングセンター、認定こども園、小・中学校も近隣にあり、生活に適した地域である。高齢化率は36%。

**自治会長になつてみて思うことは？**  
自分が住んでいる住吉台がこれまで以上に大変愛おしく感じるようになりました。住民の方からさまざまな困りごとや相談が寄せられますが、自分事

**どのような経緯で自治会長になられましたか？**  
前会長が退任され、立候補者がいない場合は選挙で決めることになっていました。私は前年に会長補佐を「1年だけ」という約束で務めたことから、選挙対象からは除外されています。しかし、なかなか手が決まらず、そんな中で皆さんが協力すると言ってくれたので引き受けることにしました。

**今後取り組んでみたいことはありますか？**  
コロナ禍を経て、行事やイベントについては、簡素化して住民に負担がかからない方法が求められています。このような中、何かをやるといふよりは、自治会を安全、安心に運営できるように、防犯灯やゴミステーションの管理

として受け入れ対応したい気持ちになります。励ましの言葉を掛けていただくこともあり、大変心強く感じています。その一方で自治会長の仕事は大変忙しいので、睡眠時間や健康管理に注意しながらやっています。私はパソコンができないので、文書の作成に苦労

**女性自治会長・役員へのメッセージ**  
住吉台では私が初めての女性自治会長ですが、何事もトップダウンではなく、皆で協議して進めるというのが私のスタンスです。まだまだ家庭においては、家事、育児や介護など女性への負担が大きいと感じており、大変なことも多いですが、多くの出会いを大切に、地域の皆さんの協力を得ながら進めたいと思います。何事も言われるまま、分らないままに進めないで、自分なりに納得して自分を見失わないようにすることが大切だと思います。

**自治会活動への女性の参画について**  
女性に限らず、男女、年代などバラエティーに富んだ形での自治会運営が重要です。住吉台の自治会組織は女性役員も多いですが、大きな会議の場で意見が言いにくい場合は、各部会の中で意見を出してもらえたらと思っています。子ども会活動やクリーン作戦など、実際に携わっているのは女性が多いので、男性よりも実情がよく分かっています。これからは生活者の目線を大切にしていきたいです。

をしつかり行いつつ、楽しい地域づくりを探っていきたくと考えています。またこれまで以上に地域の防災対策にも力を入れていきたいと考えており、今年度は実際の災害を想定した防災訓練も行う予定です。



## 女性に対する暴力をなくす運動

# パープルリボン運動



毎年11月12日から25日までは、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

女性に対する暴力の根絶のシンボルであるパープルリボンにちなみ、東京タワーや明石海峡大橋などを紫色にライトアップする取り組みが全国各地で実施されます。

パープルライトアップには、被害者に対して「ひとりで悩まず、まずは相談してください」というメッセージが込められています。丹波篠山市においても、期間中、市庁舎をパープルライトアップするとともに、男女共同参画センターにおいて職員手作りのパープルリボンの配布(数量限定)や啓発ポップの掲示などを行います。

ぜひ、気軽にお立寄りください。



(令和5年11月撮影 市役所ライトアップの様子)

## 困ったときの相談窓口

| 相談の内容   | 相談窓口       | 連絡先                           | 対応時間   |
|---|------------|-------------------------------|--|
| ・男女共同参画に関する相談・女性相談(生活や仕事、DV被害、子育てや介護、夫婦・家族・職場の人間関係など)   | 男女共同参画センター | ☎552-1511                     | 火～日曜日<br>(祝日、年末年始を除く)<br>9:00～17:00                            |
| ・専門機関(※)による女性のための悩み相談(要予約)                              |            |                               | 11月15日(金)、12月20日(金)、令和7年1月17日(金)・26(日)、2月21日(金)、3月21日(金)(各日3枠) |
| ・人権相<br>・女性のための悩み相談<br>・性的マイノリティ特設電話相談(要予約)             | 人権推進課      | ☎552-6926                     | 月～金曜日<br>(祝日、年末年始を除く)<br>9:00～17:00                            |
| ・総合生活相談<br>(人権や生活上のさまざまな相談を受ける身近な相談窓口。必要に応じて関係機関へつなぎます) | 畑ふれあい館     | ☎552-4401                     |  |
|   | 日置ふれあい館    | ☎556-2850                     |  |
|   | 西紀ふれあい館    | ☎593-0093                     |  |
|   | 味間ふれあい館    | ☎594-1003                     |  |
| ・ふくし総合相談窓口<br>(どこに相談したらいいのか分からない相談や、福祉の相談を受ける窓口)        | 古市ふれあい館    | ☎594-1001                     | 月～金曜日<br>(祝日、年末年始を除く)<br>8:30～17:15                            |
|   | 長寿福祉課      | ☎552-5346                     |  |
| 兵庫県女性家庭センター(配偶者暴力相談支援センター)                              |            | ☎078-732-7700                 | 年中無休<br>9:00～21:00<br>*緊急時は24時間対応                              |
| 兵庫県警察本部(ストーカー・DV相談)                                     |            | ☎078-371-7830<br>(危険なときは110番) | 年中無休 24時間  |

※フェミニストカウンセリング神戸

男女共同参画センター

# CALENDAR

【共通事項】

- 参加費＝無料 ●会場＝丹波篠山市民センター
- 一時保育＝無料、各開催日の7日前までに要申し込み
- ※各事業の詳細については、開催のおおむね1カ月前にホームページでお知らせします。

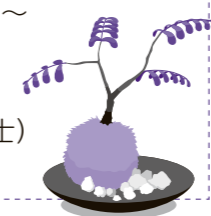
要予約

フィフティワークショップ

## 苔玉をつくろう

あなただけの、まるくてかわいい苔玉を作りませんか。おひとりでも、ご家族やお友達と一緒にの参加でも歓迎です。

- 日時 11月9日(土) 10:00～
- 定員 15人 ※先着順。
- 講師 植西恵子さん  
(兵庫県認定園芸療法士)



相談

## ちょこっと相談

子育てのことや家族のことなど、少し話したら気持ちが楽になりますよ。中川智子アドバイザーが秘密厳守でお話をお聞きします。

- 日時 11月13・22日、12月4・13日、令和7年1月15・24日、2月19・28日、3月14・19日(水曜もしくは金曜日)  
①13:00～13:50 ②14:30～15:20
- 定員 1人(グループの場合は3人まで可)  
※先着順。 ※一時保育なし。

要予約

要予約

相談

## 女性のためのチャレンジ相談

「働きたい」「起業したい」「資格をとりたい」など、あなたのチャレンジプラン作りのお手伝いをします。キャリアコンサルタントが専門的な視点でアドバイスします。

- 日時 11月16日(土)、令和7年1月25日(土)  
①9:30 ②10:30 ③11:30
- 対象 女性(市内在住・在勤・在学の方)
- 定員 各回1人
- 相談員 飯鉢仁弥さん

要予約

フィフティワークショップ

## だれでもできるタオルストレッチ

忙しい日々の中で、少しからだを動かして楽しいひとときを一緒に過ごしませんか？ご自身のペースで無理なく動ける範囲で「こころ」も「からだ」もリフレッシュ!!

- 日時 12月7日(土) 10:00～
- 定員 10人 ※先着順。
- 持ち物 タオル1本と飲み物
- 講師 小島賀子さん(男女共同参画センター相談員・有資格者)



要予約

連続講座 第5回フィフティ連続ミニ講座

## 災害とボランティア

1995年1月17日、6,434人の命を突然奪った阪神淡路大震災。あの日起きたことを次の世代に伝えること、それが経験した者たちの大切な役割だと信じています。

- 日時 令和7年1月30日(木) 13:30～
- 定員 30人 ※先着順。
- 講師 中川智子さん



要予約

連続講座 第6回フィフティ連続ミニ講座

## ハンセン病問題と人権侵害を考える

強制隔離政策によって故郷を追われ診療所での人生を送った人々。2001年に国家賠償訴訟に勝利した元患者たちは何を求めて国を訴えたのか。

- 日時 令和7年3月4日(火) 13:30～
- 定員 30人 ※先着順。
- 講師 中川智子さん

第2回

## 中川智子アドバイザーの

# エッセイ



若い人からたまに「子育ての秘訣を教えてください」と、たいそう難しい質問を受ける。子育てに正解はないと思うし、簡単には答えられない。でも、自らの経験で得たことは多いのでそれを伝える。以下のように。

- ①家庭が明るいこと。
- ②兄弟姉妹はもちろん、クラスメートなども決して比べないこと。唯一無二の存在として抱きしめること。
- ③子どもを守るためには世界を相手に喧嘩するほどの覚悟が必要(私たち夫婦は学校や部活の先生との闘い数知れず)。
- ④「男だから」「女だから」の言葉はタブー。「人間として」が基本。
- ⑤子どもの進路はまず子どもの意志を中心に置くこと。親と子は別の人格。親はアドバイザーに徹すること。

Essay by Advisor Tomoko Nakagawa

などなど書き出せばキリがないけれど、このごろ頻繁に言われるのが教育虐待だ。「あなたのため」を呪文のように唱え、親の敷いたレールを無理やり子どもに歩かせる。その挙句、子どもの心が壊れてしまう。心を病んだ子を診る思春期外来は、数カ月先まで予約が取れないという。友人がその専門医のだが「事態はとも深刻だ」と頭を抱えている。

ちなみに国連の「子どもの権利条約」に日本も批准しているが、「競争の激しい教育制度」について毎年改善の指摘を受けている。日本の10代から20代までの死因の1位は自死。昨年度は512人だった。まだ人生は始まったばかりだということ…。若い人が生きるこ

とを放棄したくなるようなこの国こそ、深く病んでいると私は痛切に思う。そして、自分に何ができるかと問い続けている。

市の子育て施策の一環で講座などを実施しているけれど、参加者がとても少ない。これは悩んでいる人が少ないのか、無関心なのか、分からない。しかし親でも子でも悩みはひとりで抱え込まず、必ず行政機関や友人などに相談してほしい。話すことで解決の糸口を探れるだろう。子どもは社会の宝、みんなを命を守っていききたい。



## 女性の参画

### 第3次丹波篠山市男女共同参画プラン進捗状況

丹波篠山市では、令和4年3月に第3次丹波篠山市男女共同参画プランを策定し、男女共同参画施策を推進しています。令和5年度における取り組みの進捗状況は、プランに掲げる77の施策のうち、令和13年度の成果目標を達成している事業が53事業(68.8%)で、未達成の事業では、前年度より改善したものは11事業(14.3%)、同じか低下したものは13事業(16.9%)でした。引き続き、成果指標の達成に向けた、さらなる推進に努めます。

### 丹波篠山市における女性の公職参加状況

令和6年4月1日時点の市の女性の公職参加状況は次のとおり。  
なお、審議会における女性委員の登用率は、兵庫県内では令和3年度から3年連続で第1位となっており、令和6年度は県にて集計中。

丹波篠山市内における女性の公職参加状況(割合)

